

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月19日			
平成15年度	事業コード	15210	電話	042-769-8288
担当部課名	生涯学習部	スポーツ	課	管理
事務事業名	学校プール開放事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯スポーツ・レクリエーションの振興	63以前年度
施策名	第2施策	スポーツ・レクリエーション施設の促進	

2 実施根拠及び関連法令等

学校プール開放事業実施要綱、学校プール開放事業事務取り扱い要領

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

投資的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
市立小学校のプール施設を学校で利用がない夏休み期間に、水に親しむ機会として提供し、健康の保持及び増進を図ることを目的とする。	市内在住の小中学生及びその保護者
	対象数 平成14年度利用者数 32,170人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
市立小中学校50校で実施した。 ・原則10日間開放 開放実績 H12年度 開放校数50校 平均利用率67.5人 H13年度 開放校数46校 平均利用数48.8人 H14年度 開放校数50校 平均利用数64.3人	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	学校プール事業利用者増減率	当該年度利用者数÷当該前年度利用者数×100	学校プール開放事業の利用者数から実態を表し、成果を表す。	127	62	149	100	100
	学校プール開放実施率	利用実施コマ数÷利用可能実施コマ数×100(1学校半日が1コマとする)	学校プール開放の実施率より開放状況を把握し、成果を表す。	94	80	94	95	95

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
		20,051	18,663	19,301	18,826	18,826
	人員・時間数	(0.1人・1年)	(0.1人・1年)	(0.1人・1年)	(0.1人・1年)	(0.1人・1年)
	人件費	330	330	310	310	310
	その他経費	155	150	66	121	121
	合計	20,536	19,143	19,676	19,257	19,257
	特定財源	0	0	0	0	0
	対象数	33,711	20,871	32,170	30,000	30,000
	対象の単位あたり経費	0.6	0.9	0.6	0.6	0.6

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	当該年度の利用者数が前年度以上であるため、達成していると判断できるが、天候により利用率の減少があるため、完全には達成されていない。
(2)必要性 評価 B ▼	A: 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B: 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	学校夏休み期間に学校プール開放として稼働しており、利用者の要求を満たしている
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B: 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C: 有効ではない		
		説明	スポーツ振興を図る上で、夏季にスポーツができる場として必要である。
(4)効率性 評価 B ▼	A: 優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	監視業務を委託としているため、利用者が少ない場合に費用対効果が低く、年々利用者の減少傾向が見られているため検討が必要である。
(5)公平性 評価 B ▼	A: 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C: 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	利用対象者は主にプール開放施設である小学校の生徒であり、受益者負担はまじまない。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり	説明: 利用人数の万年的な減少からコスト面を減らすために施設縮小をし、1プールあたりの利用率を高くしたい。そして、利用期間を延ばし、水に親んでもらい振興を図りたい。	手段	
<input type="checkbox"/> ない		削減額	0 千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
		各市町村により開放期間、校数、1校あたりの委託金額がまちまちであり比較は難しい。一部例として、H14年度実績をみると、相模原市の場合、50校開放、各学校10日間を前半後半に分け、業者委託で開放している。それに対し横浜市では、53校開放、1学校上限が14日間、学校開放運営委員会に委託している。 このことから、開放日数、委託場所、開放校数もまったく違う状況である。
今後の進め方		総合評価に関する説明
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	学校プール開放は、効率的な運営・利用方法を図るよう検討していく。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--